
風印

月猫

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

風印

【Nコード】

N2240BA

【作者名】

月猫

【あらすじ】

思いつきで、書いてみた詩です。
よく解らない表現も多いと思いますが、どうぞ、読んでいってやってくださいませ。

孤独に一人、歩いてた。

いつもの街頭も

こころなしか、冷たい気がした。

温もりは風だ。

どんなに温かくても、風のように去ってしまった。

温もりは、幻にすぎない。

嫌いな人に、優しくできない。

愛想笑いはできるけど、そんな自分は好きじゃない。
だったら、いつそ、独りになろうか。

「10年後はどうしてる？」

聞かれても、解らないよ。

今も解らないのに、

夢の意味もよく解らないのに、

どうして解るの？

一生など、風にすぎない。

「大切に生きる」

皆、よく言う。

わたしには、大切に生きることの、意味が解らない。

自分の好きな事に向かって、進むこと？

思い出を大切に生きていくこと？

振り返るのも、進むのも、勇気がない。

大切なことが、解らない。

だって、大切なことは、なにも言ってくれないから。
それとも、自分で気付くことなの？

孤独に生きていく自分と、

何も解らぬまま、進んでいく不安。

それでも、生きていかなければならないから。
今をガムシヤラに生きていこうか。

ゴチャゴチャの人と、

ゴチャゴチャの感情に流されないように、
わたしの今に、

風で印を付けて。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2240ba/>

風印

2012年1月5日18時54分発行